

# おやま 市議会だより



第302号

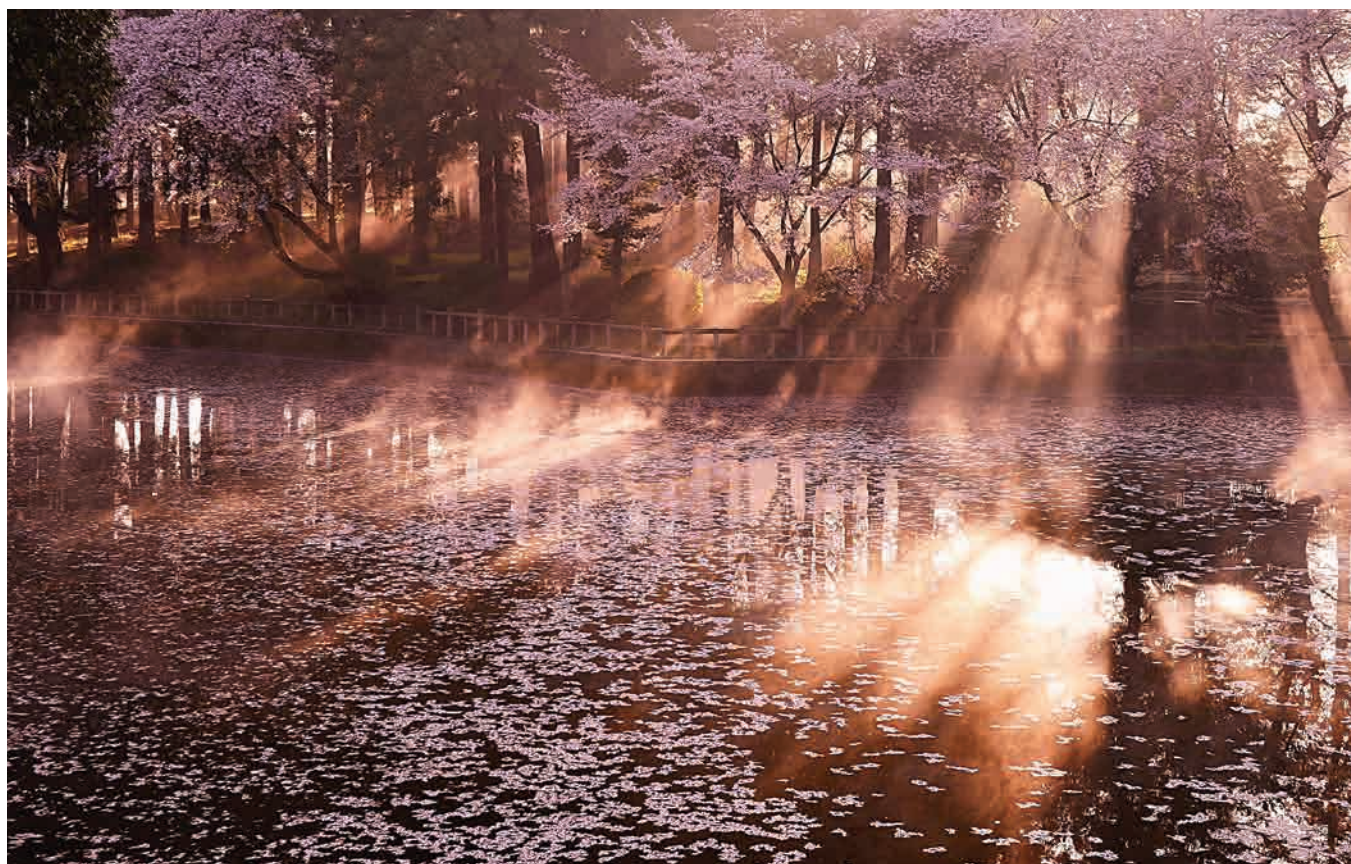
## ●主な内容

### 議員定数を30人から28人とする議案を可決 令和3年度一般会計予算639億5千万円を可決

議案とその内容……………	②	一般会計予算歳出性質別推移…………	⑤
人事案件……………	③	議員提出議案……………	⑥
審議結果……………	③・④	委員会報告……………	⑥～⑪
陳情……………	③	市政一般質問……………	⑪～⑮
一般会計予算款別一覧表……………	④	議会日誌……………	⑮
一般会計予算歳入款別推移…………	⑤	次回定例会の予定……………	⑮

🌸 本号より、文字が大きく、2色刷りになりました。

令和3年5月1日号



間々田八幡公園（撮影：Photo Artきらら 長谷川 瑛一氏）

## 主な議案

2月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆第8次小山市総合計画基本構想及び基本計画の策定について  
令和3年度から令和7年度までの5カ年を計画期間とし、まちづくりの基本的な理念と将来像を示した「基本構想」、およびそれを実現するために必要な具体的施策をまとめた「基本計画」により構成され、市政運営の総合的かつ基本的な指針として策定するもの。

◆令和3年度小山市一般会計予算—予算総額は、前年度比5%

# 2月

## 定例会のあらまし

令和3年2月16日～3月16日

令和3年第1回(2月)定例会は、2月16日から3月16日まで29日間の会期で開かれました。本定例会では、令和3年度一般会計・各特別会計予算案をはじめ、各会計の補正予算案、条例の制定・一部改正・廃止案、および人事案などについて審議しました。

2月16日、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて議案52件、報告1件が上程され、提案理由の説明を受けた後、補正予算案1件および人事案3件を即決しました。2月18日から19日は、5会派および6人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

19日は、上程議案に対する質疑の後、議案および陳情の各委員会への付託を行い、さらに、追加議案1件が上程され、提案理由の説明を受けた後、委員会への付託を行いました。これを受けて、2月26日および3月1日から5日に各委員会が開かれ、審査を行いました。

3月16日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案49件を可決しました。さらに議員提出議案4件が上程され、これらも可決し、定例会を閉会しました。

減の639億5000万円。主な事業として、協働によるまちづくりと誰もが活躍できる社会・ひとづくりのための「市民フォーラム事業」など。持続可能な行財政運営と広域連携による行政・ひとづくりのための「公

共施設マネジメント推進事業」など。未来を担う次世代の育成と学び・文化を育むひとづくりのための「小・中・義務教育学校パソコン・タブレット端末配置事業」など。暮らしやすく住み続けたい地域の活力を生かしたまちづくりのための「小山市周辺地区まちづくりプラン策定事業」など。魅力ある自然を守り伝統を継承するまちづくりのための「緑の基本計画改定事業」など。人と自然が共生した地球

にやさしいくらしづくりのための「生物多様性推進事業」など。市民が生き生き安全・安心で健康なくらしづくりのための「排水強化対策事業」など。

◆令和3年度小山市一般会計補正予算(第1号)—歳入歳出それぞれ4億2062万7千円の増額補正。高齢者施設新規入所者PCR検査費用補助事業費、新型コロナウイルススワクチン接種に係る高齢者移動支援事業費、通所及び訪問介護職員等PCR検査費用補助事業費、開運小山市共通商品券発行事業費、中小企業者等一時支援金など、補正後の予算総額は643億7062万7千円。

現議場での最後の定例会の様子



現庁舎での最後の定例会が開催され、57年の議場の歴史に幕を下ろしました。



議決結果

令和3年第1回定例会（2月）審議結果

議案番号	議案名	議決結果	
<b>予 算</b>			
議案第2号	令和3年度小山市一般会計予算	原案可決	賛成多数
議案第3号	令和3年度小山市国民健康保険特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第4号	令和3年度小山市介護保険特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第5号	令和3年度小山市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第6号	令和3年度小山市病院事業債管理事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第7号	令和3年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第8号	令和3年度小山市栃木県南地方卸売市場特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第9号	令和3年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第10号	令和3年度小山市小山東部第二工業団地造成事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第11号	令和3年度小山市テクノパーク小山南部造成事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
議案第12号	令和3年度小山市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第13号	令和3年度小山市水道事業会計予算	原案可決	全会一致
議案第14号	令和3年度小山市下水道事業会計予算	原案可決	全会一致
議案第15号	令和2年度小山市一般会計補正予算（第6号）	原案可決	全会一致
議案第16号	令和2年度小山市一般会計補正予算（第7号）	原案可決	全会一致
議案第17号	令和2年度小山市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	原案可決	全会一致
議案第18号	令和2年度小山市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第19号	令和2年度小山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第20号	令和2年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第21号	令和2年度小山市栃木県南地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第22号	令和2年度小山市テクノパーク小山南部造成事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第23号	令和2年度小山市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第24号	令和2年度小山市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第53号	令和3年度小山市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
<b>条 例</b>			
議案第25号	小山市犯罪被害者等支援条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第26号	小山市新型コロナウイルス感染症に係る中小企業者等利子補給事業基金条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第27号	小山市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第28号	小山市準用河川占用料徴収条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第29号	組織改編に伴う関係条例の整備に関する条例について	原案可決	全会一致

人事案件

◆監査委員の選任について

小山市大字今里

小峰 儀則（新任）

昭和32年5月27日生

◆教育委員会委員の任命につ

て

小山市大字羽川

奥中 栄二（新任）

昭和23年3月31日生

◆人権擁護委員候補者の推薦に

ついて

小山市大字神鳥谷

細谷 由美子（再任）

昭和26年9月22日生

陳 情

2月定例会では、新たに受理した陳情1件および閉会中の継続審査となっていた陳情1件について審議しました。その結果、2件を不採択としました。（審査の経過については「委員会審査から」をご覧ください。）

新たに受理したもの

陳情1件

●核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める陳情

〔提出者〕

小山市本郷町

新日本婦人の会小山支部

支部長 小杉 芙蓉

（趣旨）2017年7月に国連で採択された核兵器禁止条約については、2020年10月に発効に必要な50カ国の批准を達成し、2021年1月に発効となった。このような中、日本政府は核兵器禁止条約への署名・批准に反対し続けており、国際的にも厳しく批判されている。国際社会と国民の声に応え、日本が直ちに核兵器禁止条約に署名・批准するよう意見書の提出を求めるもの。

▽審議結果 不採択

継続審査に付されていたもの

陳情1件

●国に対して「妊産婦医療費助成制度」を創設するよう意見書提出を求める陳情書

▽審議結果 不採択



## ■一般会計予算歳入款別推移

(単位:千円・%)

款	令和3年度		平成28年度		平成23年度	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比
自主財源	34,736,320	54.3	36,922,944	60.8	34,295,426	62.7
市税	26,572,473	41.5	28,374,810	46.7	26,750,643	48.9
分担金及び負担金	609,270	1.0	728,797	1.2	775,981	1.4
使用料及び手数料	400,755	0.6	449,487	0.7	490,377	0.9
財産収入	105,924	0.2	87,375	0.2	76,871	0.2
寄付金	411,505	0.6	100,008	0.2	3,208	0.0
繰入金	2,449,670	3.8	369,758	0.6	62,038	0.1
繰越金	500,000	0.8	800,000	1.3	500,000	0.9
諸収入	3,686,723	5.8	6,012,709	9.9	5,636,308	10.3
依存財源	29,213,680	45.7	23,827,056	39.2	20,364,574	37.3
地方譲与税	564,001	0.9	550,001	0.9	620,001	1.1
利子割交付金	20,000	0.0	50,000	0.1	80,000	0.1
配当割交付金	100,000	0.2	160,000	0.3	32,000	0.1
株式等譲渡所得割交付金	100,000	0.2	150,000	0.3	30,000	0.1
法人事業税交付金	240,000	0.4				
地方消費税交付金	4,000,000	6.2	3,250,000	5.3	1,630,000	3.0
ゴルフ場利用税交付金	22,192	0.0	25,684	0.0	34,083	0.1
自動車取得税交付金			130,000	0.2	250,000	0.5
環境性能割交付金	50,000	0.1				
地方特例交付金	740,000	1.2	150,000	0.3	280,000	0.5
地方交付税	1,410,000	2.2	1,430,000	2.4	1,500,000	2.7
交通安全対策特別交付金	18,000	0.0	30,000	0.0	38,000	0.1
国庫支出金	10,154,997	15.9	7,948,193	13.1	7,713,450	14.1
県支出金	5,061,890	7.9	4,397,878	7.2	3,683,140	6.7
市債	6,732,600	10.5	5,555,300	9.1	4,473,900	8.2
合計	63,950,000	100.0	60,750,000	100.0	54,660,000	100.0

## ■一般会計予算歳出性質別推移

(単位:千円・%)

性質別	令和3年度		平成28年度		平成23年度	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比
義務的経費	31,141,577	48.7	26,491,500	43.6	25,554,175	46.8
人件費	10,080,482	15.8	9,169,789	15.1	10,008,189	18.3
扶助費	14,697,063	23.0	11,312,407	18.6	10,103,257	18.5
公債費	6,364,032	9.9	6,009,304	9.9	5,442,729	10.0
投資的経費	8,037,197	12.6	8,871,276	14.6	7,024,121	12.8
普通建設事業	8,037,195	12.6	8,871,274	14.6	6,247,837	11.4
(補助事業)	4,781,023	7.5	4,269,699	7.0	3,333,032	6.1
(単独事業)	3,256,172	5.1	4,601,575	7.6	2,914,805	5.3
用地取得事業					776,279	1.4
災害復旧事業	2	0.0	2	0.0	5	0.0
その他(物件費など)	24,771,226	38.7	25,387,224	41.8	22,081,704	40.4
合計	63,950,000	100.0	60,750,000	100.0	54,660,000	100.0

※人件費(議員報酬、特別職給与、職員給与、各種委員報酬、退職金など)

※扶助費(社会保障制度の一環として現金や物品などを支給する費用で、各種法令に基づくもののほか、こども医療費助成など市の施策として行うものも含む)

※公債費(市が借り入れた地方債の元利償還金および一時借入金利子の合算額。県からの借入金の返還額およびその利子も含む)



## 議員提出議案

### 議員定数28人に

定例会最終日、議会運営委員会から「小山市議会委員会条例」および「小山市議会議規規則」の一部改正案が、岡田裕議員ほか4名から「小山市議会の議員の定数を定める条例」および「小山市議会議政務活動費の交付に関する条例」の一部改正案が提出され、いずれも原案通り可決しました。

◆**小山市議会委員会条例の一部改正**—行政組織の名称変更に伴い、小山市議会委員会条例に所要の改正をするもの。

◆**小山市議会の議員の定数を定める条例の一部改正**—議会改革推進協議会の答申に基づき、議員定数を30人から28人に削減し、次の一般選挙から適用することに伴い、所要の改正をするもの。

◆**小山市議会議政務活動費の交付に関する条例の一部改正**—議会改革推進協議会の答申に基づき、令和2年度以降に交付された政

務活動費に係る収支報告書に加えて領収書等をインターネット公開することに伴い、所要の改正をするもの。

◆**小山市議会議規則の一部改正**—新庁舎における議場新システム導入に伴い、電子採決システムを採用するため、本規則に所要の改正をするもの。

## 委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会では慎重な審査を経ていきます。委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

## 総務



▼**第8次小山市総合計画基本構想及び基本計画の策定について**  
問 計画策定にあたり実施した市民意向調査の結果を、どのような形で反映したのか。

答 調査の結果を受けて、まちづくりに関する課題を抽出し、各施策に反映しています。

問 若年層からの市民意向調査の回答が少ない点についての考えは。

答 今後は郵送による配布・回収に加えて、WEB調査も活用します。なお、若い方には、市民会議に多くご参加いただいております。市民提案という形で意見を反映しています。

▼**市庁舎会議室使用料条例の一部改正について**

問 新庁舎において市民が利用できるスペースはあるか。

答 新庁舎1階東側部分の多目的スペースについては、庁舎管理規則に沿って、一般市民の方にもご利用いただけると考えています。

▼**財産の貸付けについて（新庁舎売店スペース・自動販売機スペース）**

問 新庁舎1階で営業するコンビニエンスストアの営業日および営業時間は。

答 営業日は市役所開庁日とし、営業時間は午前8時から午後5時30分までとしています。なお、営業時間については、オープン後の状況を見ながら開店時間の繰り上げ等について検討します。

また、閉庁時のイベント開催等により新庁舎1階のスペースが開放される際の開店についても、その都度協議の上、調整していきます。

## 総務（陳情）

▼**核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める陳情**

意見 日本政府は、「日本は唯一の被爆国であるが、国防上および日本国民の生命・財産を守る観点から、現時点で署名・批准することは難しい」としている。小山市議会としても、市民の生命・財産を守る方を優先すべきと考えることから本陳情は不採択とした。

意見 日本は核兵器禁止条約に反対しているわけではなく、署名しないという立場をとっていると思う。核廃絶の真の解決は核保有国の核軍縮の取り組みにかかっており、日本にはその努力を促していく役割があると思われ、8月に予定されている核兵器不拡散条約運用検討会議においてもリーダーシップを発揮

すべきと考えることから、本陳情は不採択としたい。

**意見** 日本は、現状では安全保障上アメリカに守られているという認識だと思いが、そのことと核廃絶に関して核兵器禁止条約に署名しないことがイコールかという点については疑問がある。唯一の被爆国として率先して核廃絶に向けて動くべきというのが国民の認識であり、また、市民の方から上がった声を大切にする観点から本陳情は採択としたい。

## 民生



### ▼令和3年度小山市国民健康保険特別会計予算

**問** 財政調整基金の取り崩しが続いているが、今後の見通しは。

**答** 財政調整基金については、令和3年度に約4億円を取り崩し、同年度末残高は約13億5000万円となる見込みです。今後は、財政調整基金の取り崩しだけでなく、税率改正も並行して検討していきます。

**問** 現在、約19億5000万円もの財政調整基金残高があるこ

とについての見解は。

**答** 国民健康保険特別会計に多額の財政調整基金残高がある主な理由は、東日本大震災の際、帰宅困難者を受け入れたことで平成24年から27年にかけて、国から約11億2000万円の補助金が交付された一方、大幅な医療費の負担増がなかったという経緯によるものです。当時は、平成30年に大きな制度改正が予定されており、これに備えて基金を積み立てていたものであり、その後は、国民健康保険税の激変を緩和するために基金を使っていくとの方針のもとで現在に至っています。この方針については、国民健康保険運営協議会のなかで一定の理解をいただいているものと考えています。

### ▼令和3年度小山市介護保険特別会計予算

**問** 保険給付費、および地域支援事業費の今後の見込みは。

**答** 保険給付費については、高齢化が進んでいくため増えいくと考えていますが、新たに施設ができるなどの要因もあり、どのくらい増えていくのか見込むのが難しい状況です。また、

地域支援事業については、予防的な取り組みであり、力を入れていきたいと考えています。

### ▼令和3年度小山市病院事業債管理事業特別会計予算

**問** 本予算により新小山市市民病院が導入する医療機器の内容は。

**答** 主なものとして、結石を破碎する体外式衝撃波結石破碎装置が約5000万円、循環器治療のためのアブレーション関係機器が約1500万円、ベッド20台が約1000万円であり、耐用年数に応じた医療機器の更新に、毎年3から4億円かかる」と聞いています。

### ▼令和3年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計予算

**問** 墓園整備の現状、および今後の見通しは。

**答** 全19墓所区の計画のなかで、現在は、18墓所区が完成間近となっています。19墓所区については、当初、令和4年度に造成予定だったものを、使用許可の状況を踏まえて2年先送りし、令和6年度造成予定となっています。今後、墓地の需要を見極めながら造成の進め方について検討していきます。

### ▼令和2年度小山市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）

**問** 新型コロナウイルス感染症が、今年度の決算見込みに与える影響は。

**答** 当初予算において、財政調整基金からの繰り入れを4億円ほど見込んでいましたが、令和2年5月から9月くらいまで、新型コロナウイルスの影響による受診控えがあったことから、現在は2億円ほどの繰り入れを見込んでいます。

### ▼令和2年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計補正予算（第1号）

**問** 墓園やすらぎの森整備費が繰り越した理由は。

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響により、芝生墓地において、遺骨を収納するカポートの生産が遅れているため、年度内に工事が終わらないことによるものです。

### ▼小山市犯罪被害者等支援朝条の制定について

**問** 市が設置する犯罪被害者等の支援に関する相談、情報の提供等を総合的に行う窓口の内容



は。

**答** 現在も、市民生活安心課の窓口で被害者相談を行い、弁護士による法律相談等を案内するなどの対応をしていますが、本条例の制定により、県、検察、警察、弁護士会、被害者支援センターとちぎ、およびとちぎ性暴力被害者サポートセンターなどの関係機関や、庁内関係課との連絡調整をこれまで以上に、必要な方に必要な支援が行き届くよう、丁寧に対応していきます。また、新庁舎では個室の相談室を設け、プライバシーにも配慮していきます。

### ▼小山市国民健康保険税条例の一部改正について

**問** 国民健康保険税の財政運営について、高所得者の負担が大ききことや、財政調整基金から毎年4億円程度の繰り入れが必要である等の問題についての市の見解は。

**答** 市民が健康で、医療費がからないことが国民健康保険の財政健全化につながると考えていることから、健康増進を目的とした事業に力を入れていきます。

### ▼地方独立行政法人新小山市民病院第3期中期計画の認可について

**問** 産科医師確保の見通しは。

**答** 現在、済生会宇都宮病院の協力を得て、外来診療のために週1回程度婦人科の医師に来ていただいている状況です。新小山市民病院では、産科の医師不足の状況ですが、まず、婦人科を充実させることを目標にしています。その後、段階を踏んで、出産まで対応していきたいと考えています。

## 民生（陳情）

### ▼国に対して「妊産婦医療費助成制度」を創設するよう意見書提出を求める陳情

**意見** 現在、各自治体において行っていることも医療費の無償化、不妊治療に対する助成、および妊産婦医療費助成制度については、国や県が実施すべき事業と考えており、採択したい。  
**意見** 令和元年12月に施行された成育基本法に基づき、国が妊産婦に対する支援の強化、および不妊治療の助成額の引き上げ

等によって、社会保障体制を整えている状況にあって、各自治体は、国と連携して、それぞれの地域の事情を踏まえた上での支援を検討することが大切である。また、妊産婦医療費助成制度については、妊婦加算分の医療費も本制度の助成対象となることもあり、不採択したい。  
**意見** 妊産婦医療費の公費負担と自己負担の割合については、公平性の観点から、検討すべき問題であり、その中において、各自治体が今の段階で可能な支援をしていくべきと考ええることから、不採択としたい。

## 教育経済



### ▼令和3年度小山市栃木県南地方卸売市場特別会計予算

**問** 施設整備事業費の内容は。  
**答** 浄化槽および花卉棟の電源設備の修繕です。

### ▼令和3年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計予算

**問** 令和2年度予算と比較して、予算総額が増加した理由は。  
**答** 新荒川排水機場の屋上部分の防水工事や取水ゲート開度計

の修繕工事など大規模工事が実施されるため増加しました。

### ▼令和3年度小山市小山東部第二工業団地造成事業特別会計予算

**問** 小山東部第二工業団地の分譲状況は。

**答** 9区画を分譲しており、そのうち4区画が分譲済みです。残りの5区画については、テクノパーク小山西部と合わせて約20社から引き合いが来ています。

### ▼小山市新型コロナウイルス感染症に係る中小企業者等利子補給事業基金条例の制定について

**問** 利子補給事業は、マル経融資を利用していても対象となるか。

**答** 本条例で設置する基金については、市が実施する制度融資を利用した場合に利子の一部を補助する利子補給について、5年以内で交付可能となり、令和2年度中に額が確定した方のみ該当します。コロナマル経融資を利用の方については、一般財源で対応しています。

### ▼特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について



**問** 医師の報酬を引き上げた根拠、および医師以外の教育支援委員会委員の構成は。

**答** 近隣他市町の医師である委員の報酬を調査した結果を踏まえ、本市では1回あたり1万円の報酬とし、教育支援委員会が年間6回開催されることから、年額6万円としました。また、教育支援委員会委員は15名で、医師以外の委員は学識経験者、特別支援教育関係者、教育委員会関係者、学校関係者がいます。

## 建設水道



**▼令和3年度小山市公共用地先行取得事業特別会計予算**

**問** 本特別会計の現状について問う。

**答** 調整池の用地を7130万円で購入したものであり、令和7年度までに償還予定です。令和3年度には元金・利子を合わせて898万560円を償還します。

**▼令和3年度小山市水道事業会計予算**

**問** 必要に応じて10億円を限度に水道事業会計から一般会計に

貸し付けるとのことだが、老朽化した水道設備の更新への影響は。

**答** 今後、若木浄水場や基幹管路更新等がありますが、若木浄水場の大規模な工事は令和7年度以降の予定であり、また、基幹管路は今後10年間の事業スケジュール管理ができていたため、大規模な工事までの間であれば影響はありません。

**▼令和3年度小山市下水道事業会計予算**

**問** 下水道事業における企業債の管理状況について問う。

**答** 企業債残高が最多となったのは平成21年度の約370億円でしたが、その後の事業費の抑制等の結果、310億円まで削減できました。令和2年度・3年度においてもそれぞれ6から7億円の削減を見込んでいます。

**▼令和2年度小山市水道事業会計補正予算(第2号)**

**問** 配水設備改良事業について、遅延により事業費が減額となる工事の進捗状況は。

**答** 工事の一部区間が両毛線の線路の下を通っているため、JRとの協議に時間がかかり、工

事に遅れが出ていましたが、投影面積など占用条件に変更のない工法を提案し、大筋で協議は完了しました。

**▼小山市営住宅条例の一部改正について**

**問** 改正後の条例における犯罪被害者等の取り扱い。

**答** 犯罪被害者等を一部の市営住宅に設けられる優先入居の特別枠の対象とすることで、市営住宅入居抽選での当選確率を上げる取り扱いをしています。なお、使用料は一般入居者と同様の基準です。

## 予算審査



**▼令和2年度小山市一般会計補正予算(第7号)**

**問** 介護保険特別会計繰出金について、約1億3000万円の増額補正の理由は。

**答** 給付額の増加および低所得者に係る保険料軽減分が見込みより多くなったため増額するものです。

**問** タブレット端末配置事業について、減額補正の理由およびタブレット端末の児童生徒への

配置状況を伺う。

**答** タブレット端末のリース料変更等に伴い事業費を減額するものです。タブレット端末の配置については、計画どおり令和2年度中に1人1台の配置が完了する予定です。

**▼令和3年度小山市一般会計予算**

**問** 固定資産税について、前年度比、約10億円の減額理由を伺う。

**答** 土地に関しては、当初、増額を見込んでいましたが、新型コロナウイルス感染症に関する特例措置により、増額予定であった土地の税額が据え置かれることとなったため、若干の減少を見込んだものです。家屋に関しては、評価替えに伴う経年減点補正率と再建築費評点補正率の見直し、および新型コロナウイルス感染症の特例措置による中小事業者等の課税標準額の軽減措置により、大幅な減額を見込んでいます。償却資産に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響による業績悪化のため、多くの事業者において、既存設備の減価償却等が新規投資を上

回ったことなどにより、大幅な減額を見込んでいます。

**問** 転入勤労者等住宅取得支援事業の事業実績は。また、近隣市等との人口の取り合いにならないよう留意しつつ、東京圏への人口の一極集中を是正するため、東京圏からの転入を増やすことが肝要だと思うが、その点についての見解は。

**答** 当事業は平成27年度から実施しており、現時点の累計で962世帯、2632名が利用し、補助累計額は約5億5000万円となっております。栃木県内および茨城県の近隣市からの転入が約75%、一都三県からの転入が約20%となっております。また、地方創生の本来の目的である、東京圏への一極集中の是正という視点に立って、現在、制度の見直しを検討しています。

**問** 病院群輪番制病院運営費負担金について、負担金の額が2300万円ほど減額となっている理由は。

**答** この負担金は、病院施設の整備費用として隔年で支出しているもので、令和3年度は支出のない年度に当たするため、前年

度と比較して減額するものです。

**問** 衛生費に関連し、コロナ禍におけるごみの排出状況は。

**答** コロナ禍における巣ごもりの影響もあり、家庭から出る可燃ごみの排出量は、2・3%の増加となっております。また、粗大ごみの収集運搬件数についても、令和元年度に2495件であったものが、令和2年度は、令和3年2月時点で、すでに2765件に増加しています。

**問** 勤労者住宅資金支援事業について、制度廃止に伴う残債の返済終了時期は。

**答** 平成20年度に、返済期間25年で借り入れたものが最後の借り入れとなっております。令和15年度に完済する予定です。

**問** 担い手・農地総合対策事業費について、前年比約2500万円の減額となっている理由は。

**答** 主な要因は、同事業の中の「規模拡大交付金」について、これまで10アールあたり2万円だった補助額を1万円に減額したことによるものです。規模拡大に際して、農地中間管理機構を利用することで機構からの機構集積協力金が受けられるため、

市の補助額を減額したものです。

ますが、高額な車両であるため、財政事情により計画どおり更新できない場合も想定し、日常点検やメーカーによる点検を実施し、できる限り長く使えるよう努めています。

**問** おやま和牛生産振興事業の補助内容は。

**答** 素牛1頭あたり1万円、繁殖和牛1頭あたり15万円の補助を実施しており、農家1戸あたり100頭を上限としています。

**問** 小山駅周辺地区まちづくりプラン策定事業の内容は。

**答** 小山駅周辺地区においては、小山駅東口の開発、駅周辺の駐車場計画、ロブレ再生事業等、多くの課題を抱えています。このような中、当プランでは地区内における各エリアの役割を整理し、それぞれが相乗効果を発揮できるようにしています。従来のごうとを考えています。従来の行政主体の計画ではなく、市民主体の計画にしていきたい。策定にある程度の期間が必要と考えているため、様々な意見を取り入れながら2年間での取りまとめを予定しています。

**問** 消防車両整備について、逼迫する財政状況下での消防車両の更新計画の考え方は。

**答** タンク車は15年、はしご車などでは18年等、消防車両の種類に応じた更新計画を定めてい

ます。高額の車両であるため、財政事情により計画どおり更新できない場合も想定し、日常点検やメーカーによる点検を実施し、できる限り長く使えるよう努めています。

**問** 小山ブランド創生事業について、「祇園城跡活用推進事業」および「歴史のまちづくり事業」の予算内容は。

**答** 祇園城跡活用推進事業は、国史跡祇園城跡を市民の憩いの場、歴史体験の場として整備するもので、令和3年度予算では、広場の芝生管理に係る費用および広場西側の木の剪定に係る費用などを計上しています。一方、歴史のまちづくり事業は、市内の文化財を活用し、中世小山一族の探求や、小山評定に関する講演会等を行うもので、講演や劇の委託費等を計上しています。

**問** 栃木国体開催事業の予算内容は。

**答** 令和3年度のリハール大会の開催経費および令和4年度の国体開催準備経費として計上したものです。有望選手・団体への助成経費や、実行委員会への補助金として、輸送計画の策

定にある程度の期間が必要と考えているため、様々な意見を取り入れながら2年間での取りまとめを予定しています。

**問** 消防車両整備について、逼迫する財政状況下での消防車両の更新計画の考え方は。

**答** タンク車は15年、はしご車などでは18年等、消防車両の種類に応じた更新計画を定めてい

ます。高額の車両であるため、財政事情により計画どおり更新できない場合も想定し、日常点検やメーカーによる点検を実施し、できる限り長く使えるよう努めています。



定費用、およびリハーサル大会の運営費用等となります。

### ▼令和3年度小山市一般会計補正予算(第1号)

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種に係る高齢者移動支援事業の内容は。

**答** 75歳以上の独居または高齢者のみの世帯を対象に、接種会場と自宅を往復できるタクシー券を配布するものです。ワケチンは2回接種となるため、2往復分として500円の券を4枚配布することとし、対象人数は1万2000人として計上しました。

**問** 小中義務教育学校インターネット接続高速化事業の事業内容は。

**答** 小中義務教育学校におけるインターネット環境を改善するため、インターネットの同時接続率を確保する等、遠隔授業をスムーズに行うための環境を整備するものです。

## 市政を問う

### 2月定例会 市政一般質問

(発言会派順に掲載、○印は会派代表質問を行った議員)



### 会派代表質問

#### 自民未来塾

○岡田 裕	関 良平
小川 亘	福田 洋一
篠崎 佳之	荒井 覚
福田 幸平	高橋 栄
渡邊 一郎	



岡田 裕  
議員

#### 質問事項 ①総合政策行政②保健福祉行政③新庁舎

**問** 新型コロナウイルススワクチン接種の場所・予約方法について伺いたい。

**保健福祉部長** 現在、集団接種は、文化センター、健康医療介護総合支援センター、間々田市民交流センター、桑市民交流センター、小山東出張所、絹公民館、中公民館の7会場で1日最大3会場、1000人程度の接種を予定しており、小山市、下野市、野木町、上三川町の2市2町の医師の協力体制により実施予定です。予約方法は、接種

券が届いた後、市が設置予定のコールセンターへの電話予約かウェブ予約をしていただきます。

**問** 新庁舎での市民へのサービスについて伺いたい。

**副市長** 新庁舎では、市民に分かりやすく迷わせない、待たせない窓口を実現するため、窓口番号案内表示システムおよびスマートフォンを導入します。複数の課にわたる手続きを同一の受付番号で管理し、並び直すことなく、優先して呼び出しを受けられるもので、番号が近くなるとメールでお知らせできる機能を持っています。転出入などの届出で導入するスマートフォン窓口システムは、自宅等のパソコンやスマートフォン、または市民課備え付けのタブレットに入力し、出力されるQRコードを窓口に提示することで、届出書が作成されます。住民票や印鑑証明等の申請は、申請書を記入いただきますが、質問に回答することで、関連する申請書や他課への案内書も作成できます。また、この案内を行うコンシェルジュ2名を市民課窓口に配置する予定です。

## 市政会

渡辺 一男 安藤 良子  
 大出 ハマ 植村 一  
 小林 英恵 橋本 守行  
 嶋田 積男 細野 大樹



嶋田 積男  
議員

質問事項 ①総合政策行政②保健福祉行政③消防行政④教育行政

問 小山市の移住・定住施策について伺いたい。

総合政策部長 令和2年度はオンラインによる移住相談イベントを2回開催し、5件の相談をいただきました。今後も小山市の移住・定住施策については、コロナ禍におけるテレワーク等の急速な普及を好機と捉え、インターネット等を積極的に活用した情報発信や、オンライン移住相談の拡充に加え、市公式LINE、チャットボットの導入も視野に、すばらしい自然環境を有する「田園環境都市・小山」

をPRし、東京圏の若者や子育て世代を中心に、移住・定住人口の増加に努めていきます。

問 消防団員の確保について伺いたい。

消防長 小山市の24時間体制の基本消防団員は、条例定数654人に対し、令和3年1月1日現在、644人が任用され、充足率は98・4%となっています。高い水準で消防団員が確保できている要因は、自治会を中心とした地域の理解と協力を得て、地域防災力強化のため、消防団員確保に積極的に取り組んできた結果であると考えています。また、消防団員の処遇改善については、年額報酬を平成24年度に大幅に引き上げ、県内でも高い報酬額となっています。さらに、消防団員の支援体制については、消防団協力事業所制度を導入し、事業所従業員の消防団活動への配慮や、災害時に事業所の資機材を提供してもらうなど、協力体制を整えています。今後、消防団活動に対する関心と理解を高めてもらえるよう、各種事業の啓発に取り組んでいきます。

## 市民派21

山野井 孝 石島 政己  
 塚原 俊夫 青木美智子



塚原 俊夫  
議員

質問事項 ①令和2年度一般会計決算の収支見込み②令和3年度小山市一般会計予算

問 通常年次予算とコロナ関連予算に分けるとどうなるのか。また、翌年に繰り越される事業は、どのようなものがあるか。

副市長 令和2年度一般会計予算総額のうち、新型コロナウイルス感染症対策に係る予算は、補正第1号から第7号まで、総額で197億1696万4000円であり、それ以外の通常予算は総額706億7249万5000円となっています。また、令和3年度に繰り越す主な事業は、新庁舎整備関連事業として、新庁舎整備事業、新庁舎機器整備事業および災害対策本部システム事業、国の第3次補正予算

に呼応した、市立体育館整備事業、公園施設長寿命化対策事業、および中学校トイレ改修事業、新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルスワクチン接種事業、および営業時間短縮要請協力事業者支援事業となっています。

問 令和3年度一般会計の中で財政再建の具体的な方策や事業はどのようなものか。また、基金積み立ては、どうするのか。

市長 財政再建については、早急に財政調整基金を積み増すとともに、普通建設事業の進捗調整等により市債発行額を抑制するなど、将来にわたり健全で安定した財政基盤を構築していきたいと考えています。財政調整基金の積み増しについては、財政調整基金積立計画において、新型コロナウイルスの影響を勘案し、経済が回復するまで当分は5%を目標に積み立てを行い、最終的に10%を目標にすることとしています。



## 公明党議員会

荒川美代子 ○佐藤 忠博  
大平 拓史



佐藤 忠博  
議 員

質問事項 ①保健福祉行政②お  
悔みコーナー③市営住宅

問 新型コロナウイルス感染症の陽性者で自宅療養となった市民へ、食事や買い物支援などを行うべきでは。

保健福祉部長 栃木県は、1月

18日から、自宅療養者に対して、レトルト食品等の配食サービスによる生活支援事業を開始しています。これは、保健所に食料品等の買い出しができない旨を伝えることで、自己負担なしで玄関前に荷物が届けられるものです。現在は、市が用意する支援内容を県から自宅療養者に情報提供し、希望者が市に連絡することで支援を受けられる体制をとっています。また、県の支援は食料品のみであることから、

小山市では、日用品や衛生用品等を提供する支援を検討しています。

問 火災などで被災した方で、収入制限などの入居資格を備えない方に対しても、一定期間市営住宅を提供すべきでは。

建設水道部長 これまで、平成

27年の関東・東北豪雨や令和元年台風19号など、自然災害で被災された方については、国の通知等に基づき、市営住宅入居の資格要件を満たしていない方も、期間を限定して市営住宅の使用を許可する目的外使用として住宅を提供してきました。一方で、火災に遭われた方については、入居資格要件を満たした方のみを特定入居として取り扱ってきました。先日、火災に遭われた方から市営住宅への入居申出があったため、栃木県を通して国に確認したところ、火災の場合でも目的外使用が適用できるとの回答があったことから、今後は、火災に遭われた方に対して、目的外使用の制度を活用して市営住宅へ入居できるよう対応したいと考えています。

## おやま創生会

苅部 勉 ○森田 晃吉  
土方 美代



森田 晃吉  
議 員

質問事項 ①新型コロナウイルス  
対策②令和3年度当初予算

問 ワクチン接種について、安全性は。

副市長 新型コロナウイルスワ

クチンは、国の審議会において、安全性や有効性を審査したうえで厚労省により認可されるものです。厚労省では医療従事者向けの先行接種において、副反応などのデータを集計・調査し、その結果を国民にも情報提供するとしています。ワクチン接種を行うことで、感染を防ぎ、発症時の重症化を防ぐと言われていることから、なるべく多くの人々に接種していただき集団免疫を獲得することで流行を抑えられるとされています。しかし、ワクチン接種は強制するもので

はないため、体調に不安のある方などは、かかりつけ医で相談をするか、厚労省・県のコールセンターへ相談の上ワクチン接種を検討いただきたいと考えています。

問 田んぼダムについて、進捗状況と今後について伺いたい。

産業観光部長 豊穂川流域の田

んぼダムの取り組みについては、全体面積約1100ヘクタールのうち平成29年度は70ヘクタール、30年度は53ヘクタール、令和元年度は186ヘクタールの整備を行い、令和元年度末の時点で合計309ヘクタールが完了しています。令和2年度は約150ヘクタールの整備を進めており、令和2年度末には合計約459ヘクタール、進捗率41.7%となる予定です。市民の方々の田んぼダムの必要性への理解や、令和元年度に市独自の補助金制度を創設したことにより、令和元年度・2年度には取り組みが大きく進みました。令和3年度は引き続き農水省交付金の活用や市独自の補助金制度継続を検討し、今後も田んぼダムの早期完了による、さらなる浸水被害軽減を図ります。

個人質問  
(発言順に掲載)



小川 巨  
議員

**質問事項** ①令和3年度当初予算②有害鳥獣対策

**問** サマーフェスティバル・小山の花火をコロナウイルス感染拡大防止対策をした上で開催できないか。

**市長** おやまサマーフェスティバル2021は、第1回実行委員会を開催し、事業の方向性を検討しました。その結果、令和3年8月21日土曜日に実施し、オーブニングカーニバルは行わず、花火の打ち上げ場所を分散し、同日同時刻に市内複数か所で打ち上げ、時間を短縮することで密にならないよう配慮することになりました。市民の皆様が自宅等から観覧いただき、花火を楽しめる内容となるよう進めていきます。



大出 ハマ  
議員

**質問事項** ①市長の政治姿勢

**問** 市長就任後の小山市政における見解について伺いたい。

**市長** 私の公約の一つは「市民が求める政策の実現」であり、市政運営方針の柱の一つとしています。市長就任後、「市民が求める政策の実現」という観点で小山市内の実情をみたととき、小・中・義務教育学校における雨漏り等の現状、小山市内に約330カ所ある公園のうち約190カ所について予算不足で職員自ら除草したこと、経営不振のロブレに毎年2億円の予算が投じられていること、道路舗装の補修が遅れて破損事故が頻発していることなどが判明しました。市議会をはじめ市民の皆様と力を合わせてこの現状を変え、小山市政を正常化し、市民の求める政策を実現していきたいと考えています。



高橋 栄  
議員

**質問事項** ①田園環境都市・小山②タクシーMaas事業者補助事業

**問** 高齢者運転免許自主返納事業とタクシーMaas事業者補助事業の連携により、運転免許返納を促すべきでは。

**市民生活部長** 運転免許証の返納を検討している高齢者が今後の生活の足をどうするか考えるなかで、タクシーMaas事業者補助事業の導入により、タクシーを移動手段の一部としてとらえることが可能となり、更なる自主返納の後押しにつながるものが期待されます。補助事業の詳細が決定され次第、高齢者運転免許自主返納支援事業と連携した取り組みを速やかに検討し、広報等のPRを積極的に行っていきます。

※Maas・出発地から目的地までの移動二丁スに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を利用者にとっての二元的なサービスとして捉える概念。



小林 英恵  
議員

**質問事項** ①新型コロナウイルス感染症対策②都市整備行政

**問** 小山駅南口改札の再開について伺う。

**都市整備部長** 小山駅周辺の状況については、平成24年の小山駅中央自由通路開通後、白鷗大駅本キャンパスや小山イーストクロスなど、小山駅利用者増加に寄与する多くの事業が完了し、都市環境の変化が生じていると認識しており、南口改札再開の要望も多いと認識しています。小山駅南口改札再開については、小山市とJR東日本との基本協定において南口改札廃止が定められていること、再設置の際の維持管理経費負担など、実現に向けたハードルが高いことから、引き続き市民意向を把握し、実現可能性について調査研究したいと考えています。





平野 正敏  
議員

質問事項 ①コロナウイルス対策

問 小山市に保健所を設置することは不可能だが、犬塚にある県南健康福祉センターの役割について問う。

保健福祉部長 新型コロナウイルス感染症については、県南、県西、県東、県北、安足の5地区に設置された健康福祉センターと宇都宮市保健所において医療機関等からの発生届の受理、入院調整、積極的疫学調査、濃厚接触者等に係る検査の調整、健康観察等の業務を行っています。なお、PCR検査については、健康福祉センターには検査機能が備わっていないため、採取した検体の多くは宇都宮にある県の保健環境センターで検査されています。



片山 照美  
議員

質問事項 ①保健福祉行政②総務行政

問 障がい児・者の相談事業について、市民から相談支援専門員を増やしてほしいとの声がある。市の考えを伺いたい。

保健福祉部長 令和3年2月現在における小山市内の相談支援専門員は合計33名となっています。さらに3月には1名増え34名となる予定です。障がい福祉サービスを利用する障がい児および障がい者数は年々増加し、小山市内の相談支援事業所は飽和状態になりつつあり、市外の相談支援事業所を利用するケースも増えていきます。小山市としては、利用者が身近な相談支援事業所に相談できるよう、毎年県に対し相談支援専門員を養成する栃木県相談支援従事者初任者研修の受講者数の増員を要望し、相談支援専門員の確保に努めています。

## 請願・陳情のしかた

市議会に対しての要望や意見を文書で提出することができます。

紹介議員のあるものを請願、ないものを陳情と呼んでいます。取り扱いに違いはありません。

採択となった請願・陳情については、関係機関に送付します。

当市議会では、年4回の定例会（2・6・9・12月）が開催されており、原則として、開会の7日前までに提出されたものを審議しますので、早い時期での提出をお願いいたします。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。（☎0285-22-9463）

### 『請願・陳情の提出書式例』

- ◎あて先(小山市議会議長あて)、提出日、件名、理由を記入してください。
- ◎住所、氏名を記入し、必ず押印してください。
- ◎請願・陳情者が多数の場合は、代表者を決めてください。
- ◎請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要となっています。
- ◎用紙のサイズは、A4版で提出ください。

<p>請願書(陳情書)</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>小山市議会議長</p> <p style="text-align: right;">あて</p> <p>請願者(陳情者)</p> <p>住所 TEL</p> <p>氏名 ⑩ 他 名</p> <p>紹介議員</p> <p>氏名 ⑩</p>	<p>(件名)</p> <p>_____</p> <p>(趣旨)</p> <p>_____</p> <p>(理由)</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>
---	--

小山市議会と小山市農業委員会との意見交換会

令和3年3月1日、小山市農業委員会から提出された要望書（農地利用最適化推進に関する意見）に関連し、小山市の農業の現状と課題について話し合うため、意見交換会を実施しました。「小山市の農地利用最適化の推進」「小山市の農地・担い手に関する将来予測」「人・農地プランの実質化」等について農業委員会から報告を受けた後、「担い手の確保」をテーマとして意見交換が行われました。



意見交換会の様子

議会日誌

▽ 9日	▽ 22日	▽ 16日	▽ 5日	▽ 4日	▽ 3日	▽ 2日	▽ 1日	▽ 26日	▽ 19日	▽ 18日	▽ 16日	▽ 10日	▽ 4日	▽ 1日	▽ 22日	▽ 20日
〔4月〕							〔3月〕									〔1月〕
議会広報委員会	小山駅周辺都市整備対策特別委員会	会派代表者会議	議会議事運営委員会	予算審査常任委員会	総務常任委員会	建設水道常任委員会	教育経済常任委員会／小山市議会と小山市農業委員会との意見交換会	民生常任委員会	議会議事運営委員会	会派代表者会議	議会議事運営委員会	議会議事運営委員会	協議会	議員説明会／議員全員	議会議事運営委員会	市執行部との定例懇談会／会派代表者会議

本会議はインターネットでご覧になれます。

市議会本会議のインターネット中継・録画配信をおこなっています。ぜひご活用ください。



(小山市議会ホームページからリンクしています)  
<http://www.oyama-city.stream.jfit.co.jp/>

次回定例会の予定

6月3日(木)	本会議 (開会・議案上程)
6月7日(月)	本会議 (一般質問)
6月8日(火)	本会議 (一般質問)
6月9日(水)	本会議 (一般質問)
6月10日(木)	本会議 (一般質問・付託)
6月14日(月)	委員会
6月15日(火)	委員会
6月16日(水)	委員会
6月17日(木)	委員会
6月18日(金)	委員会
6月28日(月)	本会議 (採決・閉会)

※正式な日程は、後日開催する議会議事運営委員会にて決定しますので、ご了承ください。  
 ※本会議については、ケーブルテレビおよびインターネットでもご覧いただけます。  
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に、ご協力をお願いいたします。

後編 編集 後記

新型コロナウイルスの感染が日本に広がり、1年が過ぎました。私たちは、

新しい生活様式を實行しつつ目に見えぬ敵に挑んでいます。日常生活にマスクが欠かせなくなり、子どもたちは学校に通えぬ日も続きました。自分や家族が感染し、つらい思いをした人もいます。人との触れ合いが断ち切られてしまい、誰もが言い知れぬ不安を抱えながらも、「冬は必ず春となる」との希望を抱き過ぎてきました。今、その望みに応えようとするのがワクチン接種です。

接種は、重症化リスクの大きさ、医療提供体制の確保等を踏まえ、まずは①医療従事者等への接種、次に②高齢者、その次に③高齢者以外で基礎疾患を有する者および高齢者施設等の従事者の順に対象が順次拡大されます。

様々な困難が予想される事業ですが、順調にワクチン接種が実施され、一日も早く新型コロナウイルスが終息し、「笑顔の花咲く春が来る」とを願っています。(佐藤)